

農技セ第5517号
令和2年9月30日

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長
(公印省略)

令和2年度農作物病虫害発生予察情報について

令和2年度農作物病虫害発生予察特殊報第1号を発表したので送付します。

令和2年度農作物病虫害発生予察特殊報第1号

令和2年9月30日
徳 島 県

1 病虫害名 : ヨコバイ科の一種 (和名なし) *Singapora shinshana* (Matsumura)

2 作物名 : ウメ及びモモ

3 発生地域 : 県下全域

4 発生概況

令和2年8月～9月に、ウメ及びモモの葉を加害するヨコバイ類を県下全域で確認した(図1, 図2)。発生圃場で採集した個体を神戸植物防疫所に同定を依頼した結果、和歌山県等でウメへの加害報告があるヨコバイ科の一種 (和名なし) *Singapora shinshana* (Matsumura) であると同定された。

5 形態

成虫の体色は黄緑色で、体長は3.0～3.5mm (図3)。複眼は黒色で、頭頂部に黒点がある(図4)。

6 本種の発生

海外では、中国、台湾、韓国及び北朝鮮で確認されている。

国内では、沖縄県及び和歌山県で発生の報告があるが、本県では初確認であり、さらに、モモへの加害は国内初である(図5)。

7 被害・加害種

本種は、幼虫及び成虫が葉を吸汁加害し、葉が白化する(図6)。

被害がひどい場合は落葉するとされている。なお、被害葉の裏側には幼虫の脱皮殻が付着する。

この度の調査において、慣行防除圃場での被害は認められなかった。

本種はウメ、モモ、ナシ、リンゴ等のバラ科果樹の他、サンザシ、ポポー、ポプラ等を加害することが報告されている。

8 防除対策

- (1) 本種に対して適用のある農薬はない。
- (2) 被害葉の早期発見に努め、発見した場合は速やかに被害葉を除去し適切に処分する。



図1 ウメ園での被害



図2 葉裏に寄生する *S. shinshana*



図3 *S. shinshana* の成虫

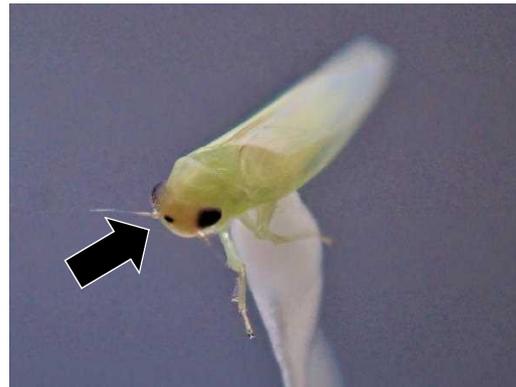


図4 *S. shinshana* の特徴（頭頂部の黒点）



図5 モモ園での被害



図6 ウメの被害葉（左：被害葉，右：健全葉）